

平成26年第4回北海道議会定例会 一般質問 開催状況（経済部観光局）

開催年月日 平成26年11月27日
 質問者 民主党・道民連合 笹田 浩 議員
 答弁者 観光振興監

質問要旨	答弁要旨
<p>三 北海道新幹線開業準備について （笹田議員） 北海道新幹線は開業に向けて準備が着々と進んでいます。 12月からは試運転も始まり、道内の各自治体や関係団体もその効果を地元や関連企業に結びつけるため努力しています。 知事も新幹線効果を全道に波及していかなければならないとしていますが、今月10日に推進委員会が設立された青森県・函館デスティネーションキャンペーン、いわゆる青函DCは、青森県とJR東日本が主体で北海道新幹線効果を青森に誘導する目的と理解しています。このDCはJR6社の協力の下、各自治体と観光関係者などが一体となって誘客活動を全国展開する大型観光キャンペーンであり、さらに、キャンペーンの前年にあたる来年はプレキャンペーンが展開されると認識しています。 北海道としては本来北海道全体に新幹線効果を波及させるべく実施していかなければならないのに、青森県がその効果を南に誘導していることに、北海道の出遅れに心配があります。 そこで伺いますが、開業年となる28年に北海道としてJR北海道とともにDCを実施出来なかったこのことに対するマイナス面の認識と、北海道として開業前後のキャンペーンの取り組みについてどのようにするのか、お伺いをいたします。 また、JR北海道とともにDCの実施を予定しているのかも伺います。</p>	<p>（観光振興監） 北海道新幹線開業準備に関し、開業前後のキャンペーンの取組についてであります。道においては、新幹線開業という注目度の高い時期におけるデスティネーションキャンペーン、いわゆるDCの実施を目指したところでございますが、JR北海道の安全運行体制の確立が喫緊の課題とされましたことから、同社と協議をいたしました上でその実施を見送り、乗客数が落ち込む傾向にある、開業翌年度の実施に向けた準備を進めることといたしましたところでございます。 道といたしましては、開業効果を全道に波及させるためには、道内各地を結ぶルートづくりを進めるとともに、旅行商品の造成に向けた商談会の開催や、メディアを活用したPR活動などに取り組んできておりますが、開業前後には、さらに首都圏や北関東、東北沿線でのプロモーションを強化いたしますとともに、200日前、100日前などの節目に大規模なイベントを開催する必要があると考えているところであります。 また、北海道DCにつきましては、切れ目のないPR活動を展開していくため、開業年の青森県・函館DCに引き続き平成29年度の実施を目指すこととしております。</p>